

統計まつぶし

令和 7 年 版



松 伏 町

刊 行 に あ た っ て

ここに令和7年版「統計まつぶし」を刊行します。

本書は、松伏町の人口、産業、財政及び教育などの行政全般にわたる基本的な統計資料を収録し、町勢の現況と推移を知っていただくとするものです。

編集にあたっては、出来る限り最新の資料を収集し、内容の充実に努めました。

常に変化しつづける社会において、本書が、各種行政施策はもとより、社会・文化活動等の基礎資料として、多くの皆様に御活用いただければ幸いに存じます。

最後に本書の刊行にあたり、貴重な資料を提供していただきました関係諸機関の方々に、心からお礼申し上げます。

令 和 7 年 8 月

松 伏 町 長 高 野 祐 大

町民憲章

(昭和58年7月1日制定)

1. 自然を愛し美しい町をつくりましょう
1. 教養を高め文化の町をつくりましょう
1. きまりを守り平和な町をつくりましょう
1. スポーツに親しみ健康な町をつくりましょう
1. 勤労を尊び豊かな町をつくりましょう

平和都市宣言

(平成元年4月1日制定)

清らかな水 豊かな緑
自然を愛し 安らぎに満ちた
平和な暮らしを築くことが
松伏町民の願いです

核兵器の廃絶を訴え
再び悲惨な争いのない
恒久の世界平和を
私たちは望みます

平和への願いを結集し
次代に引き継ぐために
町制20周年を期して
平和都市を宣言します

町章

(昭和44年4月1日制定)



町制施行を記念して制定。松伏町の「松」を図案化しました。円形は町の団結と融和を意味し、鋭い松葉の先は、限りない松伏町の発展を示しています。

町の木

(昭和58年7月1日制定)

松



町名の松伏町にちなんで決定されました。

町の花

(昭和58年7月1日制定)

菊



観賞用の花として親しまれ、町内に多く自生し、町の花として風格を備えていることから決定されました。

まつぶしの歌

船村 徹 監修

中園純則 作詩

石本美由起 補作詩

栗田俊夫 作曲・編曲

- 1 ^{きぼう ひかり み}希望の光 満ちあふれ
^{こかげしず さんぽみち}木陰静かな 散歩道
^{かぜ ことり うた き}風に小鳥の 唄を聞き
^{うめ かお はる し}梅の香りに 春を知る
ああ わが^{まつぶし}松伏の ^{うつ}美しくさ
- 2 ^{えいこういん かいづか}栄光院の 貝塚に
^{しの むかし ごせんねん}偲ぶ昔は 五千年
^{ふる つた し し ま}古い伝えの 獅子舞いに
^{こ たの なつ し}子らは楽しい 夏を知る
ああ わが^{まつぶし}松伏の なつかしき
- 3 ^{こがね なみ}黄金の波も さわやかに
^{は みの のらしごと}励げむ実りの 野良仕事
^{しげ}繁る「イチョウ」も ^{いろ}色づいて
^{まち ことし あき し}町は今年も 秋を知る
ああ わが^{まつぶし}松伏の たくましき
- 4 ^{ふるとねがわ はつてん}古利根川に 発展の
^{すがたうつ の まち}姿映して 伸びる町
^{きよう えが お たす}今日も笑顔で 助けあい
^{た さむ ふゆ し}耐える寒さに 冬を知る
ああ わが^{まつぶし}松伏の たのもしき

松伏音頭

津田むろ 作詩

船村 徹 補作詩

船村 徹 作曲

栗田俊夫 編曲

- 1 ^{はる}春はナア チョイトナア
^{まつぶしめいしよ ふるとねがわ}松伏名所の 古利根川で
^{きよ なが みずも}清い流れの 水面にゆれる
^{ほそ つりいとかが}細い鉤糸風まかせ
ササラ ササラ
- 2 ^{なつ}夏はナア チョイトナア
^{まつぶしおんど おど}松伏音頭を みんなで踊ろう
^{あんとわか}あんた若いね ^{いくつになつた}いくつになった
^{あたしやことしで かんれき}あたしや今年で 還暦だ
ササラ ササラ
- 3 ^{あき}秋はナア チョイトナア
^{まつぶし た いなほ}松伏 田どころ稲穂がまねく
^{す あおぞら くうき}澄んだ青空 空気がうまい
^{これがほんと ふるさと}これが本当のふる里だ
ササラ ササラ
- 4 ^{ふゆ}冬はナア チョイトナア
^{まつぶしへいわ ことし}松伏平和に 今年もくれる
^{みぞれふ きたかぜふ}霰降ろうが 北風吹こうが
^{まち にんじよう ゆげ}町にや人情の湯気がたつ
ササラ ササラ

1. 本書は、原則として令和５年～令和６年中または令和６年度の資料を収録しました。
2. 統計表中「年次」とあるのは１月１日から１２月３１日まで、「年度」とあるのは４月１日から翌年３月３１日までの期間を示し、「何年何月末」、「何月何日」とあるのはその期日現在を示しています。
3. 資料は諸官公庁及び庁内各課からの報告によるもの、または総務課において直接調査収集したものです。

なお、資料の出所名を各表の下部に掲げました。
4. 数字の単位未満は、原則として四捨五入したため総数と内訳が一致しない場合があります。
5. 統計表の符号の用法は次のとおりです。

- 〔０〕 単位未満のもの
- 〔－〕 該当数字がないもの
- 〔…〕 数字が得られないもの
- 〔△〕 減 少
- 〔×〕 数字が秘匿されているもの